

Alumni Voices (卒業生の声)

vol.2 Dr. NAKASUJI ★
of IIU



高専の機械工学科が合っていました！

Name

中筋さん

Graduated

2013 年 3 月 専攻科修了 学士（工学）

2022 年 3 月 京都大学大学院修了

博士（エネルギー科学）



Affiliation

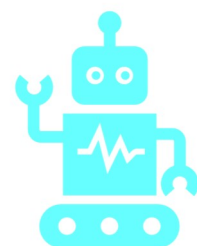
株式会社 IIU

Work place

東京都台東区池之端

Post

主任研究員



☆彡 こんな仕事やっています

IIU で研究・開発の仕事をしています。主な業務内容は、プラントでの検査技術に関する研究です。渦電流探傷、音響による機器の状態監視のほかカメラ映像に映っている物体を特定する**物体検知 AI を用いた研究も進めています**。これらの技術は単独で活用されることもありますが、ロボットやドローンなどで取得したデータと組み合わせて使用することが可能です。実際には、発電プラントに出向き、Boston Dynamics 社の**四足歩行ロボット「Spot」**（代理店は東北エンタープライズ）と共にカメラによる画像データを採取し、メータ指示値の読み取りができるかどうかを検証することもあります。



高専ではこれに打ち込みました ☆彡

私は学業や軽音楽部に打ち込みました！学業については、学年が進むにつれて、各科目が相互に関連していることに気づき、面白さを感じるようになりました。その結果、自然と専念するようになりました。例えば、数学（微分・積分）は物理学や熱力学、流体力学の基礎となっていることや、

機械設計には熱力学が使われていて、



それが**製図**によって具体化されることが挙げられます。



また、ギターが趣味だったため、軽音楽部の活動にも熱心に取り組みました。高学年の文化祭では、ステージに出っぱなしになっていました！



☆彡 やっぱり機械工学科

もともと実家が農家で、農機具（機械）をいじるのが好きでした。高専の機械工学科の低学年の実習では実際に機械を触ることができ、高学年では、なぜ**機械が**そのような寸法になっているのか、**どのような仕組みや理論で動いているのか**を学びました。この経験は、機械好きの私にとって非常に満足のいくものでした。

現在の仕事は**研究・開発**なので、機械を直接触ることはほとんどありません。しかし、機械工学科で学んだ仕組みや理論が生かされていると感じる場面が多くあります。



中学生の皆さんへ ☆彡

動く物に興味のある方は、ぜひ機械工学科を選ぶことをお勧めします！

私はここが自分にとって最適だと思い、入学してから十数年が経ちましたが、全く後悔はありません。一度オープンキャンパスやものづくり教室に参加してみることをお勧めします。



正直なところ、高専が合う人と合わない人がいるのも事実です。それを見極めるためには「**体験すること**」が**非常に重要**だと思っています。



☆彡 ME の後輩の皆さんへ

私は機械が好きでしたが、歴史や英語は苦手でした。そのため、それらから逃げられると思って機械工学科に進学したのも事実です（笑）。



大学院に進学した後、国際会議などで交流するたびに、英語や歴史をしっかりと勉強していれば、もっとスムーズで面白いコミュニケーションができたのではないかと感じています。



これだけ言わせて ☆彡

私は、高専での経験（主に研究活動）から大学院博士課程まで進学し、**博士号を取得**しました。大学院での勉強の基礎は高専で学んだことでおよそカバーできることが分かりました。15 歳からの工学系寄りのカリキュラムに本当に助けられて今があります。

また、高専の学費は国立大学の半分程度です。両親に大きな負担をかけずにここまで学んでこれたことも高専を選んで良かったなと思っています。

